

正誤表

本書中に訂正箇所がありました。申し訳ございませんでした。お手数をおかけしますが、下記ご参照いただきますようお願い申し上げます。(2021年10月18日)

■第1版第1刷(2021年1月29日発行)の修正箇所

ページ	場所	修正前	修正後	補足
233	18 ＜計算＞ 上から4行目 と最後の行	$h = 180 \times (15 + 5) \div 1000 = 3.6 \text{ m}$ $= 3.6 + 10 + 15 + 5 = 33.6 \text{ m} \approx 33 \text{ m}$	$h = 170 \times (15 + 5) \div 1000 = 3.4 \text{ m}$ $= 3.4 + 10 + 15 + 5 = 33.4 \text{ m} \approx 33 \text{ m}$	
234	19 図-1	<p>図-1: 給水装置の平面図。配水管 G から分水栓 G まで 20-6.0* の距離がある。分水栓 G から止水栓と水道メーター (M) までの距離は 20-2.5 である。止水栓と水道メーター (M) の間に距離 20-2.0 がある。水道メーター (M) から分岐点 F までの距離は 20-1.5 である。分岐点 F から各水栓 A, B, C までの距離はそれぞれ 20-1.0, 20-1.5, 20-1.5 である。水栓 A, B, C の高さはそれぞれ 13-1.0, 13-1.0, 13-1.5 である。また、水栓 D, E の高さも 13-1.0 である。全体的な高さ差は 4.5m である。</p> <p>* G ~ F の給水管の延長</p>		左図のように、赤字の E の位置を変更する。
286	下から10行目	<p>……の実務経験を有する同主任技術者が管工事業に係る営業所選任技術者と……</p>	<p>……の実務経験を有する同主任技術者が管工事業に係る営業所専任技術者と……</p>	